

ちょっとひと工夫

NO. 3

—家庭学習改善のための情報—

教学指導課

生徒に力がつく家庭学習になっていますか

「この家庭学習で、本当に生徒に力がついているのだろうか」という素朴な疑問・・・。
モデル校（安曇野市立堀金中学校、辰野町立辰野中学校）の家庭学習の改善は、当たり前のように行われてきた従来の家庭学習の内容や方法を見直すことから始まりました。

*多くの中学校で出されている家庭学習の課題

- 毎日、3点セット（国、数、英）＋生活記録
 - ・国語：白文帳1ページ（漢字練習）
 - ・数学：提出ノート1ページ
 - ・英語：提出ノート1ページ
- 理科、社会等の課題はないことが多い。
- 教科係が、提出したかどうか名簿に○をつける。
提出率○○%と記録する。



こんな生徒もいました

- ・国語の漢字を数日先まで書きため「貯金する」生徒
- ・数学で、連立方程式2～3問を毎日、解き続ける生徒
- ・英語で、同じ単語をひたすら書き続ける生徒

モデル校では、家庭学習への取組について生徒の実態をつかみ、教科会や教科主任会、職員会議等で「家庭学習」について情報交換したり議論したりして、教科間で連携を図りながら家庭学習の改善を進めてきています。

モデル校の実践の中から、明らかになってきた家庭学習改善のためのポイントを紹介します。家庭学習改善の気運は、県下の小中学校で、徐々に高まってきています。モデル校の取組を参考にしながら、現在の家庭学習が、本当に生徒に力がつく内容になっているかどうかを見返してみてください。

生徒にとって、意味のある家庭学習にすることが大切です

そのために、

提案1 授業の復習や予習など、授業の内容と結び付けた家庭学習にする。

提案2 提出率だけでなく、家庭学習の内容を評価する。

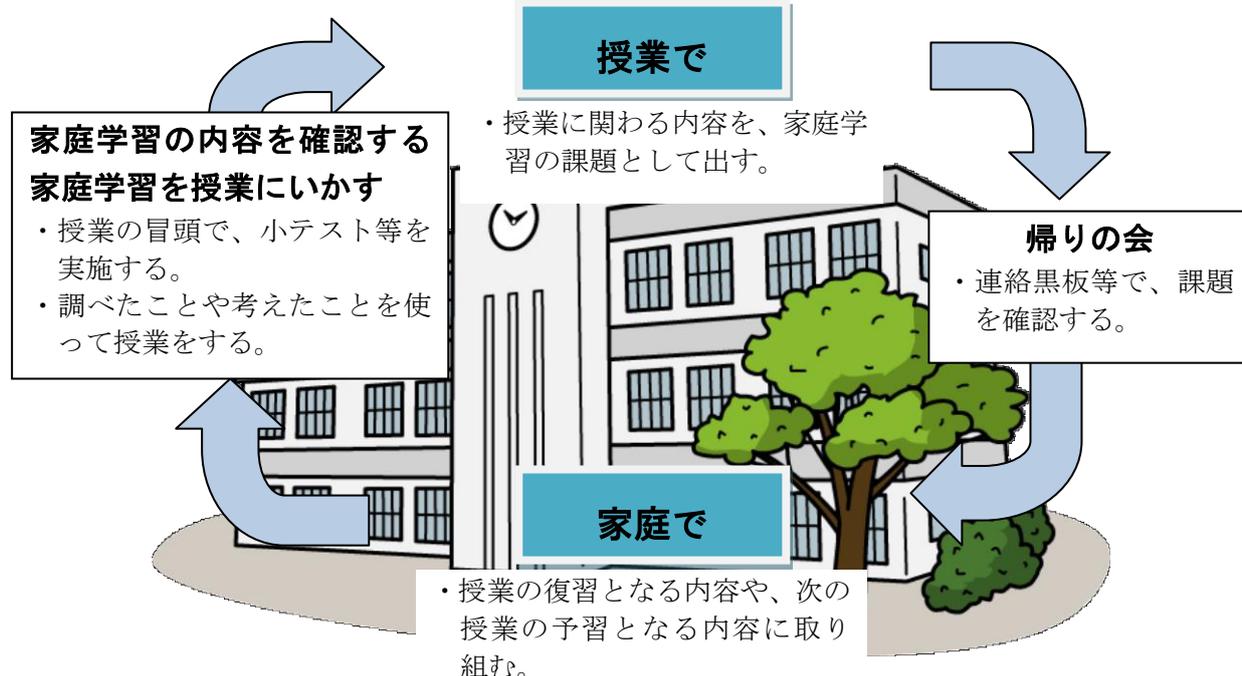
生徒にとって意味のある家庭学習にするために 提案1 授業の内容と結び付けた家庭学習に しましょう

堀金中学校では、作業的・機械的な家庭学習を見直し、生徒が目的意識をもって家庭学習に取り組むことができるように、「授業とのつながり」を考えた内容にすることを考えました。



教師が、授業の終わりに

「今日の授業では、～を学習しました。家での課題は、○○○です」と伝える。



社会や理科も、家庭学習の課題を出す。



生徒が、「家で学習したので、理解が深まった。授業に役だった」という気持ちになるように、授業を工夫する。



【堀金中学校の取組】

家庭での生徒の負担を考慮し、月曜日から金曜日には、国語・数学・英語の課題を出し、週末には、社会・理科の課題を出す等、課題の質や量を考えて生徒に家庭学習を課している。課題として自主学習も取り入れている。

家庭学習で、各教科で共通していることは、次の3点である。

- ① 生徒にとって、過度な負担にならないように各教科 30 分程度の内容とする。
- ② 授業内で、小テスト等を実施する。
- ③ 家庭学習に取り組むときに、目標やめあてを書くように促していく。



家庭学習の内容例（復習）

- 国語** ①漢字や語句ノート（問題集と白文帳の併用）
 ②国語の学習（問題集）＊範囲を指定する。
 ③短作文課題・・・書く目的を明確にする。
- 数学** ①授業で学習した内容に関わる問題
 ＊教科書や問題集から指定したり、学習プリントに加えたりする。
 ＊クリア問題、チャレンジ問題を活用する。
- 英語** ①新出単語練習
 ②授業で扱った文を用いた英作文
 （提出ノート、ワークブック、ワークシート）
- 社会** ①既習範囲の問題集
 ②1週間の振り返りができる学習プリント
 ③重要語句や地図作成等のプリント
- 理科** ①既習範囲の問題集
 ②学習プリント
 ・知識を問う重要語句プリント
 ・思考力・表現力を問うプリント

辰野中学校宿題学習プリント【例】

20問プリント17
 3年 組 番 名前 月 日

次の計算をしなさい。

① $12+8+(3-2^2)$ ② $2(x+5y)-(7x-6y)$

③ $\frac{2}{3}xy \div \frac{5}{6}x \times \frac{7}{8}y$ ④ $\frac{x+3y}{4} - \frac{5x-y}{6}$

⑤ $(x-8)(x+4)$ ⑥ $(a+4)(a-4)$

次の方程式を解きなさい。

⑦ $2x = \frac{2}{3}x + 4$ ⑧ $\begin{cases} 2x+y=8 \\ 2(x-y)+y=12 \end{cases}$

次の問いに答えなさい。

⑨ 半径が6cm、中心角が60°のおうぎ形の面積を求めなさい。ただし、円周率はπとする。

⑩ 変化の割合が4で、x=3のとき、y=2となる一次関数の式を求めなさい。

⑪ ある数xに6を加えると、その和は12より大きい。数値の大小関係を不等式で表しなさい。

⑫ 下の表は定額外郵便の料金表です。この表の重量と料金の関係について下のアからオの中から1つ選びなさい。

重量	50g	100g	150g	200g	250g	300g	350g	400g	450g	500g	1kg	1.5kg
料	120	140	160	180	200	220	240	260	280	300	350	400
重	50	100	150	200	250	300	350	400	450	500	1000	1500

ア 料金は重量に反比例する。
 イ 料金は重量の一次関数である。
 ウ 料金は重量の関数であるが、比例、反比例、一次関数のいずれでもない。
 エ 料金は重量の関数であるが、比例、反比例、一次関数のいずれでもない。
 オ 料金は重量の関数ではない。

次の式を因数分解しなさい。

⑬ $x^2+7x+12$ ⑭ $x^2+48x-100$

⑮ $4x^2+12xy+9y^2$ ⑯ $x^2-\frac{25}{9}$

⑰ x^2-5x+6 ⑱ $6x^2+12xy$

⑲ $a^2+12a-28$ ⑳ y^2-4y+4

① 基本的な問題
 ②
 ③
 ④
 ⑤
 ⑥
 ⑦ x=
 ⑧ (x,y)=(,)
 ⑨ 課題の見られた問題 類題
 ⑩
 ⑪
 ⑫
 ⑬
 ⑭
 ⑮
 ⑯
 ⑰
 ⑱
 ⑲
 ⑳ 授業の復習問題

《辰野中学校の数学の学習プリント》
 辰野中学校でも、家庭学習プリントに
 授業の復習問題を入れています。



家庭学習の内容例（予習）



- 国語** ①意見文等の材料集めや下書き
 ②国語の学習（問題集）
 ・古文や漢文等、語句調べやあらすじ調べのために利用。
- 数学** ①次の授業で学習する例題
 （前時との違いや自分の困難点を明らかにしておく）
- 英語** ①テーマ別自由英作文課題で正しく使用できるようにするための単語練習

生徒の姿が、こう変わった

- 授業が分かるようになり、意欲的になった。
- 社会・理科の家庭学習による成果を実感する生徒が多い。
- 週末の自主学習に、予習・復習を取り入れる生徒が見られるようになった。
- 自分のめあてを意識しながら取り組める。

先生の姿が、こう変わった

- 週末に、社会・理科の課題を出していることから、「今週末の課題は何にする」と、毎週、週の半ばに短時間の教科会がもたれるようになった。あわせて、進度や教材等、授業の内容について話し合うようになった。

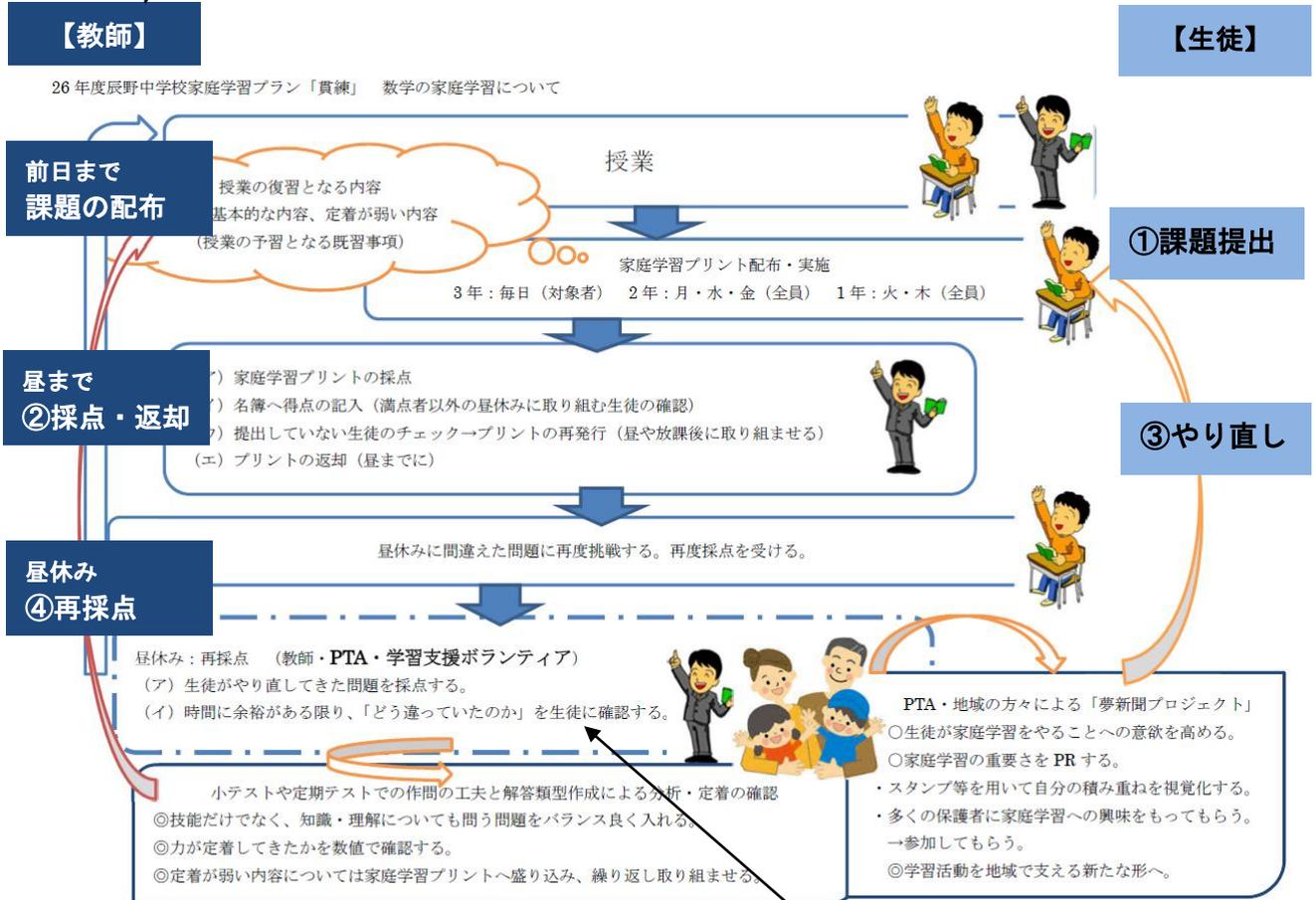
生徒にとって意味のある家庭学習にするために 提案2 学習内容を確実に定着させるために 家庭学習の内容を評価しましょう

辰野中学校では、「宿題をやらせっぱなしにしない」、「学習内容を確実に定着させる」ことを願い、生徒の家庭学習プリントを採点し、生徒にフィードバックするシステムを作りました。

家庭学習で間違えた問題について、やり直した後のプリントを再採点する時間を昼休みに位置付け、保護者や地域の学校支援ボランティアにも協力を求めました。



1日の学校生活の中に、家庭学習の点検システムを構築する。



生徒の姿が、こう変わった

- 平日、休日の家庭学習時間について、30分未満または全くしない生徒の割合が減少した。

保護者の姿が、こう変わった

- 生徒の家庭学習の様子を、学級PTA等で情報交換する姿が増えてきた。



教師と学校支援ボランティアの温かな声かけと評価が、生徒の主体的な家庭学習を後押しします。

辰野中学校「地域ボランティアが行う学習プリントの見とどけ」の場面を参観して

「よっしゃー！」とガッツポーズをして、教室を去っていく生徒



昼休みになると、次々に数学のプリントをもった生徒たちが教室に入ってきます。そして、地域ボランティアの方にとっても爽やかに「こんにちは。お願いします。」と挨拶して、やり直した数学プリントを手渡します。すると、地域ボランティアの方が丸付けをしながら、「うん！いいじゃん。がんばったね。」とほほ笑みながら生徒に語りかけます。生徒は「ありがとうございます。」と言ってちょっと照れくさそうな表情を浮かべながら、採点していただいたプリントを受け取ります。

教室を出るときに、一人の男子生徒が小さくガッツポーズをしながらつぶやきました。「よっしゃー！」と。教室を去っていく男子生徒の後ろ姿には「次も頑張るぞ」という意欲が滲み出ていました。

できるようになった喜びを地域の方と共有できるこの空間が実に温かく感じました。そして、このような空間が生徒の意欲を掻き立てる源になっていることを実感しました。

【「家庭学習シンポジウム」の参加者の感想より】



授業の始まり等に小テストを位置付けて、家庭学習の内容を確認する。



部活動のない放課後等に「放課後学習室」を開設する。

学習内容を確実に定着させるための取組として、堀金中学校では、分からなかった問題を質問したり、欠席した授業の補習を受けたりできるように「放課後学習室」を開いています。部活動のない月曜日の放課後1時間程度、先生方や地域のボランティアが、希望する生徒に対応しています。



《堀金中学校の「放課後学習室」》

**「放課後学習室」の取組が広がっています。
地域と協力した取組も広がってきています。**

- ・「冬学」と称して、放課後学習を実施し、家庭学習との橋渡しをしている。(T中学校)
- ・「放課後塾」で、学校支援隊(ボランティア)の学習部が家庭学習もみている。(M小中学校)
- ・地域ボランティアによるノート指導を準備している。(S中学校)
- ・放課後に、ボランティアによる学習を実施している。2、3年生の希望者を対象に、数学と英語を行っている。(A中学校)